

スコアシート		竣工段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境			0.40					3.1
1 音環境		2.2	0.15	3.0	1.00			2.2
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		1.0	0.40	3.2	0.40			
1 開口部遮音性能	共用:対象外(開口部を設けていない)、病室:T-2以上	-	-	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		1.0	1.00	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	1.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20			
2 温熱環境		3.1	0.35	3.0	1.00			3.1
2.1 室温制御		3.6	0.50	3.4	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能	SC:0.4程度、U=1.5程度、外壁:U=0.725、屋根 U=0.599	4.0	0.25	4.0	0.43			
4 ゾーン別制御性	冷暖フリーのパッケージ空調、ゾーン毎の冷温水切替バルブ	4.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御	ダブルコイル式	5.0	0.20	5.0	0.20			
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30			
3 光・視環境		3.1	0.25	3.8	1.00			3.2
3.1 昼光利用		2.6	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	病室:1.25%≤1.44%	1.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備	共用:カーテンウォール、トップライト、ライトウェル	5.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		4.0	0.30	3.0	0.30			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	共用:ブラインドと庇	4.0	1.00	3.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御	病室:ベッド単位で制御可能	3.0	0.25	5.0	0.25			
4 空気質環境		3.7	0.25	3.3	1.00			3.6
4.1 発生源対策		3.0	0.50	3.0	0.63			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 タニコピ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		4.0	0.30	4.0	0.38			
1 換気量	中央管理方式の空調調設備	4.0	0.50	4.0	0.33			
2 自然換気性能	開口面積の床面積に対する割合 個室:1/10≥1/15、4床室:1/8	3.0	-	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮	外気取り入れ口は屋上に設置し、各種排気口間隔6m以上確保	4.0	0.50	4.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御	敷地内禁煙	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			4.0
1 機能性		4.4	0.40	4.8	1.00			4.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性	個室:11㎡≥10㎡、4床室:8㎡≥8㎡	3.0	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画	建築物移動円滑化誘導基準適合	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	4.5	0.40			
1 広さ感・景観	天井高:2.6m≥2.5m	3.0	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		1.0	-	-	-			
3 内装計画	【人にやさしいデザイン】をテーマに癒しの空間を演出	5.0	1.00	5.0	0.50			
1.3 維持管理		4.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い仕上材、耐久性塗料、壁掛式便器	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	清掃用具置場、廃棄物置場、各トイレSK、全ての屋根乗込み可	5.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.6	0.31	-	-			3.6
2.1 耐震・免震		3.4	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能	免震装置を導入	5.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	21年≤25年<30年	4.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	20年≤20年	5.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ガルバリウム鋼板製ダクト等の採用で長寿命化対策	5.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			4.4	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備	熱源種の二重化、複数台設置、換気設備の系統分散	5.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備	節水型器具の採用、災害時排水槽、水槽の二槽化	4.0	0.20	-	-	-
3	電気設備	非常用電源、無停電電源、免震層があり浸水の危険性無し	5.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法	耐震支持クラスS	5.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.7	0.29	3.8	1.00	3.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	4.6	0.50	
1	階高のゆとり	共用:4.5m \geq 3.9m、病室:3.9m \geq 3.9m	5.0	0.60	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 共用:0.1 \leq 0.23<0.3、病室:0.1 \leq 0.16<0.3	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.6	0.38	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性	ルートマシンハッチ設置、主要機器複数台設置	5.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース	バックアップ設備実装によるスペース確保	4.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	歩道状空地、展示コーナー・大会議室、緑化ビト、病院スタッフ設計	5.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	風を導く配置、高い位置からの排熱で暑熱環境の緩和	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物の熱負荷抑制		PAL=214.0MJ/年m ²	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.20	-	-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	病室棟にライトウェル(光井戸)	4.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電設備	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			4.4	0.30	-	-	4.4
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR=23.2%	4.4				
集合住宅の評価			3.0				
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマ、小便器:洗浄水量4L/回以下、女性用便器:擬音装置	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.63	-	-	3.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	ビニル床材、人口木材、床タイル	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	ユニット部材を採用	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-	
1	消火剤	不活性ガス消火剤(窒素)	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWPが低い発泡材	5.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		LCCO2低減率=20%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	敷地内緑化、隣棟間隔指標Rw=1.6	4.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制	十分な駐車場スペースの確保	5.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.3	0.33	-	-	3.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.7	0.40	-	-	
1	風害の抑制	植栽設置で風害を低減	4.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.1	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	JIS照度基準等の照度基準、総合効率の高い光源	4.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		1.0	0.30	-	-	